

令和7年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	75	学校名	浜松江之島高校	記載者	鈴木 雅道
------	----	-----	---------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	(ア)問題行動や心身の不調、事故等を未然に防ぐ安心な学校づくり	○挨拶や礼法が実践できている生徒 ○相談できる先生がいる生徒 ◎生徒が相談しやすい環境作りをした教員 ○学校生活に満足している生徒 ◎SNSに不適切な書き込みをしない生徒 ◎SNSの適切な使用を指導した教員 ◎自転車による加害事故がなかった生徒 ◎常に不祥事根絶を意識している教員	A	A A A A A	・昨年度からの継続として、生徒に対するきめ細かい目配りが実践されており、教職員が常に高いモチベーションで教育・生活指導に取り組まれていると拝察する。特に若年層のSNSの利用については重要な社会課題を内包している。その意味で貴校のSNS使用に関する指導は大きな成果を挙げており、意義深く受け止める所である。 ・すべての教員が、生徒が相談しやすい環境を整備していることは、生徒たちに安心安全な居場所を提供するうえでとてもよいことだと思う。中学校の雰囲気も昔と随分変わったが、高校も変わったのだと感じる。 ・生徒間トラブルや犯罪等にSNSがかなり絡んでいる。適切な利用への教育は、学校を安定させるためにも必須だと考える。今後もご尽力いただきたいと思う。 ・先生がしっかりと生徒に向き合っている。学校に行くたびに生徒の挨拶が気持ちいい！
	(イ)防災対策や環境整備等による安心・安全な学校づくり	◎荒天や災害時に自らの命を守ることを意識して行動しようと心がけている生徒 ◎危機管理マニュアルを確認した教職員 ○相手を思いやる言動ができている生徒・教職員 ◎自分の心身の状態を正しく伝えようとした生徒 ◎朝食を毎日摂る	B	B A A A A	・昨今の世情を踏まえ、防災への意識を生徒指導の中に反映させていくことは非常に重要であり、その意味でも貴校の取り組みは評価できる。また、経年の課題である図書館の利用については、旧来の図書館利用の概念に囚われないユニークな発想が求められる。例えばギャラリースペースとしての利用や生徒間での推し本情報交換コーナーの設置などが考えられる。ブックカフェなども試みられているとのことなので励行が望まれる。

		<p>ように心がけている生徒</p> <p>◎生徒の様子や実態を正しく把握し、適切な対応を心がけている教員</p> <p>◎定期的な安全点検を実施した教職員</p> <p>○学習環境が整っていると感じた生徒</p> <p>△図書館を利用した生徒</p> <p>◎ごみの持ち帰りを行った生徒・教職員</p> <p>◎予算を計画的に正しく執行した教職員</p>			<p>・図書館の利用が58.3%。ネットやAIが主流になっている昨今にあって、この数字はかなり高いように感じる。ひと昔前までは、授業の調べ学習でよく図書室を利用した。今は、タブレットによるネット検索になっている。様々な文献に目を通して、自分の考えを構築していくという作業は、現在の子供たちにとっては時間がかかりすぎてまどろっこしいのだろう。</p> <p>・江南中では多様性をはぐくむため、多言語の簡単な小説を図書室にそろえた。そのようにしたら、意外と貸し出しが増えた。</p> <p>・マニュアルがしっかりしている。</p>
イ	(ア)知性を育む基礎学力の定着	<p>○自らの基礎学力が身に付いた生徒</p> <p>△生徒の基礎学力が向上したと感じる教員</p> <p>○自らの思考力が高まった生徒</p> <p>△生徒の思考力が高まったと感じる教員</p>	A	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・生徒と教員との間で評価にギャップがあることが若干気にかかるが、教員サイドが冷静な生徒の修学効果を見極めていることの表れと理解する。</p> <p>・生徒は身についた気になっている、客観視する教員はそう思っていない、生徒はポジティブ思考なのか、一瞬でも分かればよいのか、中学校でも全く同じ現象である。</p>
	(イ)知性や表現力の向上につながる授業実践	<p>○ICT等を活用して分かる授業が行われていると感じた生徒</p> <p>◎1日に平均1時間以上演奏した生徒</p> <p>◎4月に比べ美術の能力が向上した生徒</p>	A	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>A</p>	<p>・ICTの活用は昨今の授業運用の時流であり基本的には積極的に取り入れていくことが望まれるが、その活用自体が目的となってしまうとは本末転倒である。あくまで生徒の修学支援効果を冷静に見極めていくことが必要である。</p> <p>・ICTを授業の中にどのように活用するか。間違えると思考力が育たないなどのデメリットの部分が大きくなると感じている。</p> <p>・その点、演奏や美術などは人としての豊かさを醸成してくれるように思う。</p>
ウ	(ア)主体性や規律性を身につける教育活動の実践	<p>○学校生活や学校行事に主体的に取り組んでいる生徒</p> <p>◎欠席・遅刻をなくすように心がけた生</p>	A	<p>A</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>・生徒指導において最も重要な事は登校モチベーションの喚起である。学校に来たくなるような様々な取り組みが背景にあるように推察する。</p>

		徒 ○始業時間や提出期限を守っている生徒		A A	・欠席と遅刻は少ない方がやっぱりよいと思う。中学校の職員を見ていると、社会の中で働くうえで欠勤の少ない頑丈さが求められていると思う。
	(イ)自己指導能力や地域貢献力を育む教育活動の実践	◎自らの行動を自ら監督しようとした生徒 ○生徒が自己目標を設定し、目標達成のために行動できるような工夫をした教員 ○地域との連携を目指した活動を通して貴重な経験をすることができたと感じた生徒	B	B A A A A	・一般に「授業」という形態は、ともすると教条的な知識の押しつけに陥ることが危惧される。求められているのは自ら考え行動する人材であり、その延長上で地域貢献への気づきを促していくことと考える。貴校のこの視点への取り組みは着実に成果を上げていると思われる。 ・目標を掲げその達成に向けて挑戦する姿勢が、やがて人生の志へと発展し、自分らしい人生を送ることができると思う。教員も夢を追いかけてほしい。生徒たちに自らの背中で人としての生き方を見せてほしい。
エ	(ア)3年間を通じたキャリア教育の実践	○進路指導に満足している生徒 ○進路実現に向けて自ら行動している生徒 ○進学・就職説明会が役に立ったと感じた生徒 ○自らの学習する意欲が高まった生徒 ◎生徒の学習意欲が高まったと感じる教員 △自ら学習計画を立てることができた生徒	B	B B A A A	・どのように関心を持たせられるのか、難しいと思われまます。 ・生徒指導において、進路は避けることのできないファクターであり、受験や就職活動は生徒にとって人生の岐路としての重要な局面である。したがってそれに対しての情報提供はもちろん、生徒のモチベーションの維持やメンタルケアに留意する必要がある。それを踏まえてこの評価数値は貴校の先生方の尽力の成果と考えられる。 ・全体的に8割UPの達成率は素晴らしいと思う。 ・高校生年代は、自分はどうかあるべきかどう生きるべきか悩み続ける年代だと思う。様々なことを調べ、多くの人に出会い、他者に相談をして自分を見つめていく。この作業がキャリア教育なのでしょう。江之島高校は就職する生徒も多いので、心を耕すというか人生観を耕すというか…そのような機会がたくさんあるとよいように思う。

様式第5号

	<p>(イ)自己実現を目指す探究活動の実践</p>	<p>○よりよい生き方について考えた生徒 ◎探究活動の目的を共有した生徒・教員 ○共生・共育について理解を深めた教員</p>	<p>A</p>	<p>A A A A A</p>	<p>・様々な探究活動の実践が、貴校が掲げるスクールミッション「多様性への対応と共通性の確保によって共生・共育を推進する」の体現に繋がるように見受けられる。</p>
--	---------------------------	--	----------	--	--